

【助産診断・技術学】

	<p>講師① 第 15 回 2. 妊婦の主体性を尊重した出産を支援するケア 3) 妊娠期の保健指導の実際 妊娠中の食事、母乳育児推進と乳房ケア マイナートラブル、出産準備教育、バースプラン 妊娠期に必要な届出と保護規定、社会資源の活用 等</p> <p>講師② 6 時間 ※講師①共同 第 16～17 回 2) 妊婦健康診査シミュレーション 岡山桃子 事例 妊娠 32w 健診場面</p> <p>講師① 第 18 回 2. 妊婦の主体性を尊重した出産を支援するケア 3) 妊娠期の保健指導の実際 妊娠中の食事、母乳育児推進と乳房ケア マイナートラブル、出産準備教育、バースプラン 妊娠期に必要な届出と保護規定、社会資源の活用 等</p> <p>講師③ 6 時間 第 19 回 8. 母乳育児支援 1) 母乳育児支援についての基礎知識 2) 特別な支援を必要とするケース 第 20～21 回 3) 授乳支援の実際</p> <p>講師② ※講師①共同 第 22 回 妊婦健康診査 客観的臨床能力評価試験 岡山桃子 事例 妊娠 34w 健診場面</p> <p>終了試験 1H</p>	<p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p>
<p>評価方法</p>	<p>1. 筆記試験 80 点 (講師① 70 点、講師③ 10 点) 2. 技術試験 (妊婦健診 OSCE) 20 点 (講師②)</p>	
<p>テキスト</p>	<p>助産学講座 6 助産診断・技術学 I 妊娠期 医学書院 助産師基礎教育テキスト第 7 巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア 日本看護協会出版会 マタニティ診断ガイドブック 医学書院</p>	
<p>参考書</p>	<p>母乳育児支援スタンダード NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会 産婦人科診療ガイドライン産科編</p>	
<p>学生へのメッセージ</p>	<p>本講義では、妊娠期から産褥期につながる知識と技術の習得を目指します。妊娠期の状態が必ずその後の分娩・産褥期の母児に影響を及ぼしますので、継続的な視点を持って学んでください。</p>	